

- 六、西前田、黒崎間停留場新設
- 七、荒生田、到津間停留場新設

其後、吾黨は機會ある毎に前記決議中の要求條項を提げて再三再四折衝を続け來つたが、頑迷不靈なる九軌當局も、沿線住民大衆の壓力を背景とする吾黨の威力と、不撓不屈の追撃の前に抗し難く、第三項、第七項の要求は既に之れを容れて實施し、第五項及第六項に就いては近く調査の上實施するを誓ひ、再らに其他の項に就いては、今後十分の調査研究を遂げたる上漸次御要求に副ふ旨の回答を成するに到れり。

され、吾黨及沿線住民の要求の眼目は、其の第一項である。電車賃の値下げ、電燈及電力料金の引下げである。此の要求を貫徹するに非んば、斷じて、消費者大衆の利益を擁護する所以に非ず。

若し、暴慢横道の資本魔九軌にして、吾黨及び沿線住民共同の利益を蹂躪して反省する處なく、猶ほ且つ頑強に吾等の懇願的要求を拒否するに於ては、吾等は敢然起つて、全沿線住民大衆を吾黨の旗下に結成し、一大民衆運動に訴へ而して更らに吾黨市會議員を通じて沿線各都市の市會を動かして九軌腐懲の猛闘争を展開すべきことは、來るべき一九三〇年度に於ける吾八幡支部最高使命の一つでなければならぬ。

## 二、市營貸店設備改善要求運動

八幡市役所が製鐵南門附近東西に涉りて市營貸店を建設したることは、是れ一箇の重要な社會政策としての住宅政策であつて、吾黨は其の建設の趣旨に於て、決して反對するものではない。

社會政策としての住宅政策、其れは固より借主の利便本位を旨とし、家賃の低廉、設備の完備等に就き能ふ限りの工夫を拂はねばならぬのであつて、斷じて營利的であつてはならぬ。然るに、市役所の市營住宅は、家賃極めて高價にして、普通個人貸家の遙か上位に在り、而も其の家屋の設備たるや、天井なく床なく、加之、疊建具さへなく、殆ど家としての用を爲さなればかりでなく、生活必需の水さへ無き状態にて、バラツク以下の粗末なるものであり、借家人一同非常に困惑した擧句、市營貸店借家人組合を組織し、その組合の要求として、設備の改善方を市當局に要求したのである。是れに對し、鈴木市庶務課長は何等の考慮を拂はうとせず、突慥食に一蹴し去つた。

八月八日の市營貸店設備改善要求運動、市役所の答へは、市營住宅の建設は、市會の議決したるものであるが、執行委員會は組合代表者の主要な要求として、市役所に對し、市營住宅の設備改善を求め、市會に對して議決したのである。翌九日吾黨部は交渉委員をして、市役所に鈴木市庶務課長を訪問せしめ、市營住宅の設備改善に就いて極力主張したる處、天井も床も早速張り、其他のことも出来るだけ貴黨の意に副ふ可く努力すべしとの回答を得、而して今や既に其の實現を見たるは、貸店借家人一同のため吾黨の最も悦びとする處である。

## 三、上水道不正事件に於ける吾黨の追撃

從來、八幡市役所は其の要する上水を、製鐵所より無償にて供給を受けてゐたのであるが、昭和四年十月に入りて無斷にて突如として給水停止を受くる事件が持上るに到つた。是れ所謂丸山水道組合不正事件問題として喧傳せられ、當時驚々たる世論の沸騰を惹起したる事件である。

事件の發端は、南め市役所が製鐵所より上水供給の承諾を受くるや、その鐵管布敷工事を映間某（丸山水道組合長）に請負はしめたのであつたが、其の後丸山水道組合所有の溜池は、附近農村に於ては稻の收穫皆無地さへ現出するが如き近年稀有の大旱魃でありしにも拘らず、常に漫々として満水し居たるを以て、いたく之れを不審に思ひたる製鐵所は警察官立會の上で、市當局には何等の斷りなく埋没鐵管の疑惑的箇處を掘返へして検査したる處、第三者の盗水の疑ひ歴然たるものを發見したるが故に、斷然市への給水を停止したることになつたのである。

是の事件、一度び白日の下に曝露せらるゝや、市内の言論機關は一齊に筆を揃へて、鐵管布敷工事中に於ける市當局の監督不行届を論難し、なほ給水を無斷停止せられながら而も製鐵所に對し一回の抗議をも爲さざる市役所の無責任、放恣を難詰するに到つた。

吾八幡支部は、即刻、議員團會議を召集して、「此の問題に關して、市當局が、何等自發的調査を試みやうとせず、而も製鐵當局に對し市役所と第三者の盗水の嫌疑とが何等の關係なきことを立証して、その無斷給水停止に對する嚴重なる抗議を爲さざるは、給水停止のため他より上水の供給を受けねばならぬから甚しき市費の濫費であり、且つは市役所と丸山水道組合との關係に對する市民の疑惑を喚び起すものであが故に、市當局にして速時調査に着手せしめ、同時に製鐵所への抗議を爲さしむる」ことを決議し、直ちに猿野助役、鈴木庶務課長、及び星野土木課顧問に對し厳しく